

## 平成29年度 オレンジロードつなげ隊による認知症啓発活動

福知山公立大学主催

### 【福知山公立大学特別公開講座】に参加しました！！

- ◆開催日：平成30年1月26日（金） ◆場所：福知山公立大学4号館101
- ◆内容：福知山公立大学の講義の一環として、オレンジロードつなげ隊が参加して、『認知症になっても安心して暮らせる』をベースに、次の担い手となる学生とグループワークをしました。

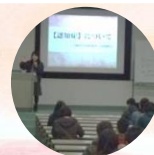
- ◆『講義（講座）内容について』
- ◆『ペアワーク（5分間）について』

福知山公立大学  
地域経営学部 杉岡准教授



- ◆『認知症について』
- ◆『オレンジロードつなげ隊』

京都府中丹西保健所  
京都府中丹西地域包括ケア推進ネット



- ◆『福知山市における認知症施策（ケアパス等）について』

福知山市高齢者福祉課 地域包括支援係



## グループワーク

各グループでテーマを1つ選び、『〇〇〇について私（たち）ができること』を前提に議論しました。

- ◆交通・運転免許について  
【代わりにお遣い（お買い物）に行く】  
【学生とシェアハウスする】  
【学生主体の地域公民館行事】



- ◆ゴミの分別について  
【認知症の方はゴミの分別をする必要のない制度】  
【大学生がボランティアで行い、行政、つなげ隊と連携】  
【認知症の方専用のごみ袋をつくる】  
など他にも意見が出ました。

### ◆講座を受講された、学生さんからの感想◆

- 自分が考えたことと一致したので、より深く考えることができた。
- 交通面などで学生にできることは限られてくると思うけれど、まずは身近な高齢者との会話を大切にするなど、小さなことから始めていくべきだと思う。
- 認知症の方の自尊心を傷つけずに、問題を解決するという難しさがわかった。誰もが、成り得る認知症だからこそ、みんなで助け合うことが大切だと思う。
- これまで頭で考えていたのと違って、実際に現場で活動されている方とお話をすると、できると思った提案でも、とても難しく課題が多くなり、現実には厳しいことばかりだった。
- 自分の周りにも“認知症”の症状がある人がいましたが、急に怒ったりして、腹が立ったことがあったけど、その裏腹、認知症を持つ人もまた不安などを感じていたりするので、お互い精いっぱい思いやりをすることが大事だと思いました。

### ◆オレンジロードつなげ隊員の感想◆

- 学生さんに現実に起っている状況を知ってもらい、自分たちにできることを、身近なこととして考えてもらうことができたことは、高齢者を支援する私達にとって理解者を増やす、貴重な機会になりました
- 若い学生の考え方に刺激を受け、何に関しても柔軟な発想と行動力で解決できることもあるだろうと希望がもてました
- 施設の中で感じている所と、何も知らない学生が感じている部分は違うことを教えられたので、お互いに感じている部分の共有をしていれば良いのかなと感じました。